

…山の1年、まちの1年、人の1年を考える…



平成 26 年の日南の森林（もり）便りも今月号で最終号となります。毎日山をみて暮らしていると、季節毎に山が変わっていくのを実感します。吹き飛ばされそうな頼りない苗木が根を張り、山を守り、そして山の木は少しずつ太って緑の森林を形成して、いま出荷の時を待っています。

何十年というスパンで植林→間伐→伐採というサイクルを迎える林業ですが、一年一年の地道な作業の積み重ねでもあります。もし、山への想いが途切れてしまったとき、山がどうになってしまうのかの心配もあります。森林のまち日南町に住む私たちはもちろん、流域の人々は常に森林について考えていかなければならないと思います。

そんな中、NPO では、今年も「森の日南」のカレンダーを作成しました。

すべてのページに豊かな森があり、そこに日南の産業があり、生活の場となっています。お手元に 1 冊、置いて頂ければ幸いです。

来年も日南の森林林業についての情報発信に努めます。どうぞ宜しくお願いいたします。